

株)プラチナ・コンシエール

女性FPを中心とした専門家集団

女性FPを中心とした専門家で構成されている株)プラチナ・コンシエール(東京都中央区銀座)は、個人のマネー相談のほか、新聞や雑誌、インターネットなどのメディアを通じた情報発信や必要死亡保障額・住宅ローン返済に関するシミュレーターの企画・監修など、幅広く事業を展開している。「一人一人の消費者が自立して意思決定するためのお手伝いをしている」と話す和泉昭子代表取締役は、同社のこれまでの取り組みや今後の展望などを聞いた。



和泉社長

「プラチナ」の情報提供

同社は2007年9月に設立、現在は和泉社長を中心とする4人の女性メンバーで運営している。本物志向を目指し、質の高い情報を顧客に提供したいという思いと、

当初の事務所が白金にあったことで、社名に「プラチナ」を冠した。同時に、顧客の価値観やライフスタイルを一緒に考えながら支援していくという意味を込め、「コンシエール」を名乗っている。提携関係にある17人のスタッフが、今のところすべて女性で、税理士や社会保険労務士、経営コンサルタントなど多様なキャリアをそろえてい

消費者の多様なライフスタイルを支援

る。専門的知識や経験のあるスタッフが顧客ニーズに対応した解決策を提示して実績を積み重ねてきたことや、和泉社長自身が以前から生活経済ジャーナリストとして情

報発信していたこともあって、各媒体から取材や執筆などの依頼が日を増すことになっている。

法人向けサービス

同社は現在、マネーに

関するシミュレーターの企画・監修、金融機関や事業会社向け研修・コンサルティング、メディアへのコンテンツ企画など、法人向けのサービス提供をメイン業務としている。

シミュレーターの企画・監修では保険会社や情報ベンダーなどを主なクライアントとして、死亡保障額シミュレーター、キャッシュフロー・シミ

今後の展望

同社は、中央区銀座にある、「行列のできる法律相談所」でおなじみの住田裕子氏の弁護士事務所の一画にオフィスを構えている。住田氏と和泉社長らは現在、弁護士、FP、医師などさまざまな立場から、高齢者に安心した暮らしを提供するためのNGO法人設立に向けて準備を進めている。高齢化社会を迎えている日本において、老後の生活に安心を与える社会的スキーム作りを目的とした研究会を既に発足させており、今後は国や民間企業などに向け、積極的な情報発信を行っていく。「法律家、医療従事者、お金のアドバイザーが一体となって、認知症など高齢者が抱える社会問題の解決策を長期的に考え、実践していきたい」。

ユレーター、資産ポートフォリオ作成ツール、金融商品説明・販売ツールなどのベースとなるロジック(シミュレーション結果の根拠となる理論)を提供している。ロジックは、クライアント寄りの

メディアに提供するコンテンツや金融機関向け研修・セミナーなども同様だ。依頼する側の意向を尊重しつつも、FPとしての知識や経験をベースにした中立的な視点でのサービスにこだわりを見せる。「読者やセミナー参加者が将来困らないようにするためのお手伝

いをするのが当社の仕事であって、クライアント企業の商品を売らんがためにやっているわけではない」と和泉社長が話すように、あくまで消費者支援の立場を貫いている。

同社の展望としては、今後もFPとしての立場をベースに、消費者が自分らしい生活を送り、企業が健全に成長していくための支援をしていくことにある。「当社の基本コンセプトは、多様な価値観やライフスタイルを持つて人生を送る人のお手伝いをするにある。保険は本来、一人一人の多様な生き方を支えていくものであり、当社がその機能をうまく引き出すことで、消費者とも金融機関ともウィン・ウィンの関係を築いていきたい」。